

平成25年度 新潟市北区文化会館 事業計画書

	事業名	出演者・団体	実施日	内 容
鑑 賞 事 業	新作 奏語り「凧(いか)がらめ」	作:高井松男 出演=高井松男・ベース・笛・パーカッション	7月20日 (土曜)	「奏語り」とは語り手と楽器が共に語り部となって、物語を観客に伝えていくという伝統的語り芸の一つ。現見附市と長岡市の刈谷田川を挟んだ六角のイカと呼ばれる大凧合戦をモチーフに、盲目の少女と凧に託した青年の想いを描く。
	中国雑技団 アクロバティック・エンターテイメント	出演=中国杭州雑技団	7月28日 (日曜)	厳しい訓練と伝統に裏打ちされた高度な舞台技術を鑑賞。日本と異なる中国文化を楽しんでもらう。
	新作演劇公演「あかい壁の家」	作・演出・出演=渡辺えり	8月18日 (日曜)	舞台・TVに活躍中の渡辺えりの新作舞台。
	第3回北区ジャズ祭り	出演=新潟Jazzマン	8月24日 (土曜) 25日 (日曜)	3回目となった北区文化会館恒例のジャズ祭り。
	クラシック公演	出演=「チェコ・フィルハーモニー室内合奏団」	9月29日 (日曜)	名門チェコ・フィルハーモニー管弦楽団のトップ弦楽奏者により1980年創立された室内合奏団。“弦の国”=チェコと言われるほど弦楽器の演奏が盛んで、多くの優れた演奏者やアンサンブルを輩出しているこの国で代表的な弦楽オーケストラである。
	楽(あそび)の庭 シリーズ2	構成・演出=田村博巳 出演=韓国舞踏団 柏崎市綾子舞保存会	10月20日 (日曜)	国指定重要無形文化財の綾子舞と、韓国民俗舞踊と組み合わせ。民俗舞踊と民俗音楽を世界各国と交流を通じて研究を重ねてこられた許榮一氏と国立劇場演出家田村氏の構成による新試み。
	子どもステージ 「おばけりんご」	原作=谷川俊太郎 演出=小森美巳 出演=演劇集団 円	平成26年 1月19日 (日曜)	ポーランドの画家ヤーノシュの絵本「おばけりんご」を谷川俊太郎が戯曲化。俳優達の歌や踊りとともに人形師川本喜八郎デザインの八本足のドラゴンが登場するなど子供と大人も楽しめる作品となっている。
	谷村新司コンサート	出演=谷村新司	平成26年 3月	谷村新司の小ホールバージョンのコンサート。
	第4回新春北区落語まつり	出演=春風亭昇太ほか	平成26年 3月	春風亭昇太と昇太が選んだゲストによる新春寄席。
ア ウ ト リ ー チ	サクソ	出演=佐藤隆雄	4月25日 (木曜) 26日 (金曜)	長岡を活動拠点とし、新潟ジャズストリート、北区ジャズ祭りなどにも出演しているビッグバンドTWEの主要メンバー。演奏技術はプロ級、地域のアーティストの活動の応援企画。
	邦楽(尺八・箏)	出演=坂田誠山(尺八) 木村玲子(箏)	5月30日 (木曜) 31日 (金曜)	日本の古典楽器を新しい演奏方法や、オーケストラと合奏など、世界的に活躍している坂田氏、木村氏。迫力ある演奏と、尺八・箏の楽器の指導を受ける。
	能楽	出演=高井松男ほか	6月13日 (木曜) 14日 (金曜)	平成23年度実施の際、大好評を得たプログラム。能楽の解説と共に、笛や小鼓を体験してもらう。
	ドラム・打楽器	出演=中村達也	9月12日 (木曜) 13日 (金曜)	日本を代表するジャズドラマーの一人。西アフリカの楽器バラホフォン(ひょうたんを繋ぎ合わせたような楽器)やスチールドラムを巧みに合わせ独特の音楽を演奏する。
交 流 ・ 発 信 事 業	北区フィルハーモニー管弦楽団 第3回ファミリーコンサート	出演=北フィル	12月8日 (日曜)	団員数80余名となった北区フィルハーモニー管弦楽団の12月定例のファミリーコンサート。
	北区音楽祭2013	出演=市民団体	11月10日 (日曜)	合唱、吹奏楽、ダンスなど、様々な市民団体が日頃の練習成果を発表する音楽祭。
	合唱と弦楽アンサンブルのタベ (仮題)	出演=早通りお母さん コーラス/ニナーレ/ヴィ エール弦楽アンサンブル/ 北区少年少女合唱団。 演奏=北フィル	12月23日 (月曜・ 祝日)	北区オリジナルミュージカル「春のホタル」の小学生出演者を中心とした「少年少女合唱団」を設立し、第一回目のコンサートとする。同時に地域で活動している合唱団と演奏団体との共演で、この地域での音楽活動の促進を図る。